



令和2年7月豪雨災害 球磨村からの報告





渡地区の鉄橋はSLひとよしの撮影ポイント



一勝地を下るラフティング

球磨村 被災状況

死者：25名

渡：16名（千寿園14名）

一勝地：6名

神瀬：3名

浸水面積：約70ha

床上浸水：470件

床下浸水：20件

球磨川にかかる橋が5本 流失
（支流の橋も5本流失）

仮設住宅：268棟（751名）

みなし仮設：90戸（246名）

現在、354世帯997名の方が
仮の住宅で生活している。

八代市

神瀬

一勝地

渡

人吉市

大坂間地区
橋と家が流失



神瀬 堤岩戸地区
岩戸川の増水



被災前の球磨村渡地区

茶屋地区

千寿園

渡小学校

くま川下り
渡発船場

島田地区

球磨村 渡 どうぎゃん9月号より

古くからこの地の田畑を潤し、独自の文化を育んできた母なる球磨川。
しかし7月4日の朝、記録的な大雨によりその川が氾濫。濁流が家に、田畑に、無慈悲に押し寄せた。
水が引いて現れたのは変わり果てたふるさとだった。

球磨川

茶屋地区

くま川下り
渡発船場

令和2年7月4日

私たちが襲った 豪雨災害

千寿園

渡小学校

島田地区

小川

災害から1週間後の球磨村・渡。

右奥が特別養護老人ホーム「千寿園」。左は家屋倒壊が著しい茶屋地区。

球磨村 渡 どうぎゃん9月号より

あの日の豪雨では、早朝から浸水が始まりました
想定外の事態に**既存の対策**は全く役に立たず
その後、洪水は球磨川の堤防を軽々と越えてきました



国道219号

JR渡駅

球磨川

小川

住民が懸念していた堤防が低い箇所集中し破堤



球磨村 渡 茶屋地区

球磨川の本流となっていた

被災当日 9時38分



被災直後

午前2時から
住民が声を掛け合い
避難行動を開始したため
奇跡的に犠牲者なし！



自宅 村営住宅 平屋

球磨村 渡
島田地区

朝は8時には床上2mまで水が



屋根までの高さ 5m 10cm

球磨村 渡 島田地区

小川が破堤、国道が川になっていた

5時46分頃



国道219号

渡小学校 運動場に小川の水が 5時56分



破堤した箇所



避難後 ますます水位が上がる 6時55分

破堤した箇所





自宅の浸水状況 6時54分

屋根まで浸水した自宅 10時10分



球磨村 渡 島田地区

この光景の中、市房ダム緊急放流!?

← ツイート

 ウェザーニュースLIVE @wni_live · 2020年7月4日
熊本県 市房ダムで緊急放流

熊本県などによりますと熊本県水上村の市房ダムの貯水量が増加している
ということで、球磨川で午前8時30分からダムの緊急放流を行うとしていま
す。下流域の水位が急上昇する可能性があり、今後の情報に注意が必要
です。

 雨情報
youtu.be/F1zRL2FdQR4


ウェザーニュース
熊本 市房ダム緊急放流

8 180 250

千寿園駐車場に迫る小川からの水 5時48分

破堤した箇所



通学路
スピード落とせ

球磨村 渡
島田地区

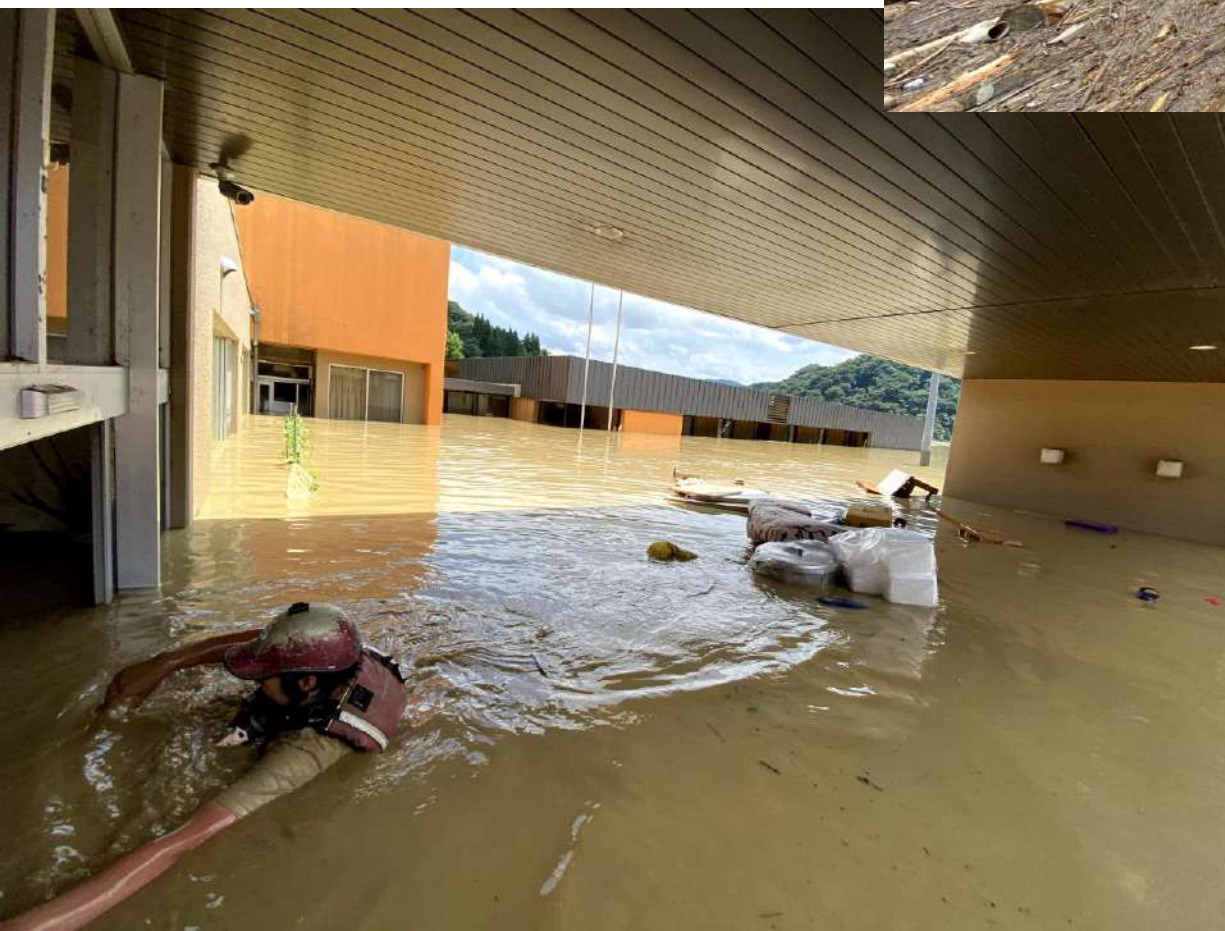
二階に避難するが、高齢者が犠牲に…



球磨村 渡
島田地区
小川からの流木と泥

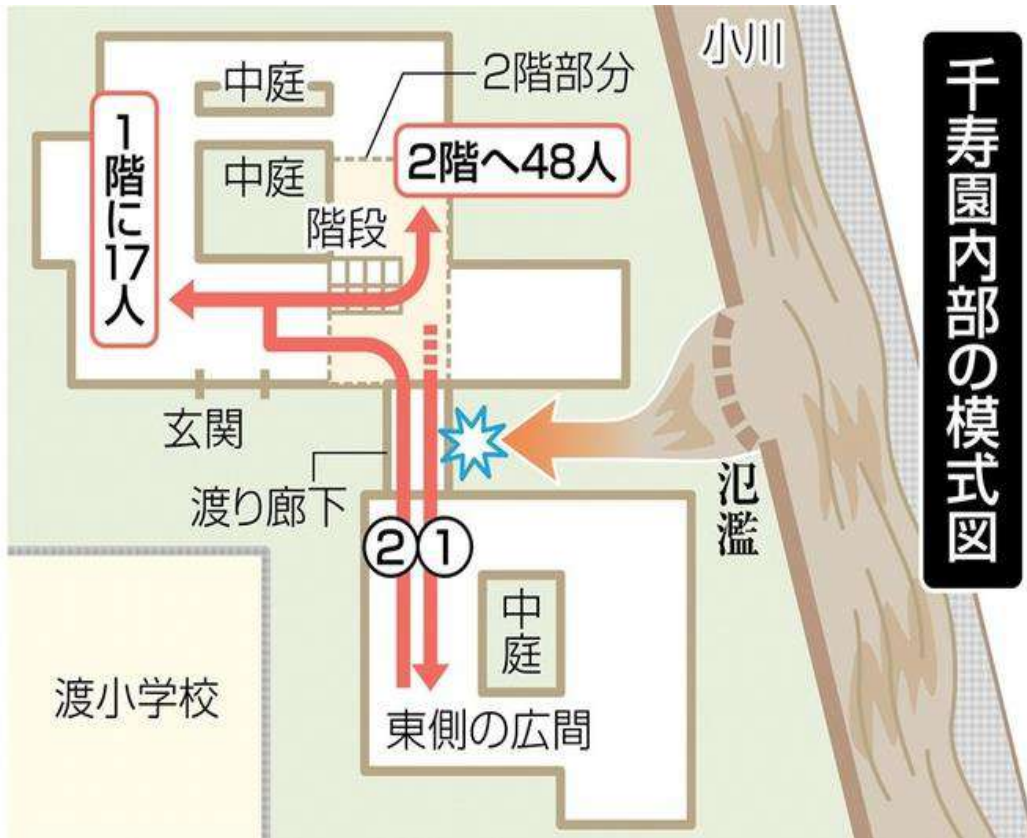
球磨村 渡
島田地区

救助に向かうラフトボート



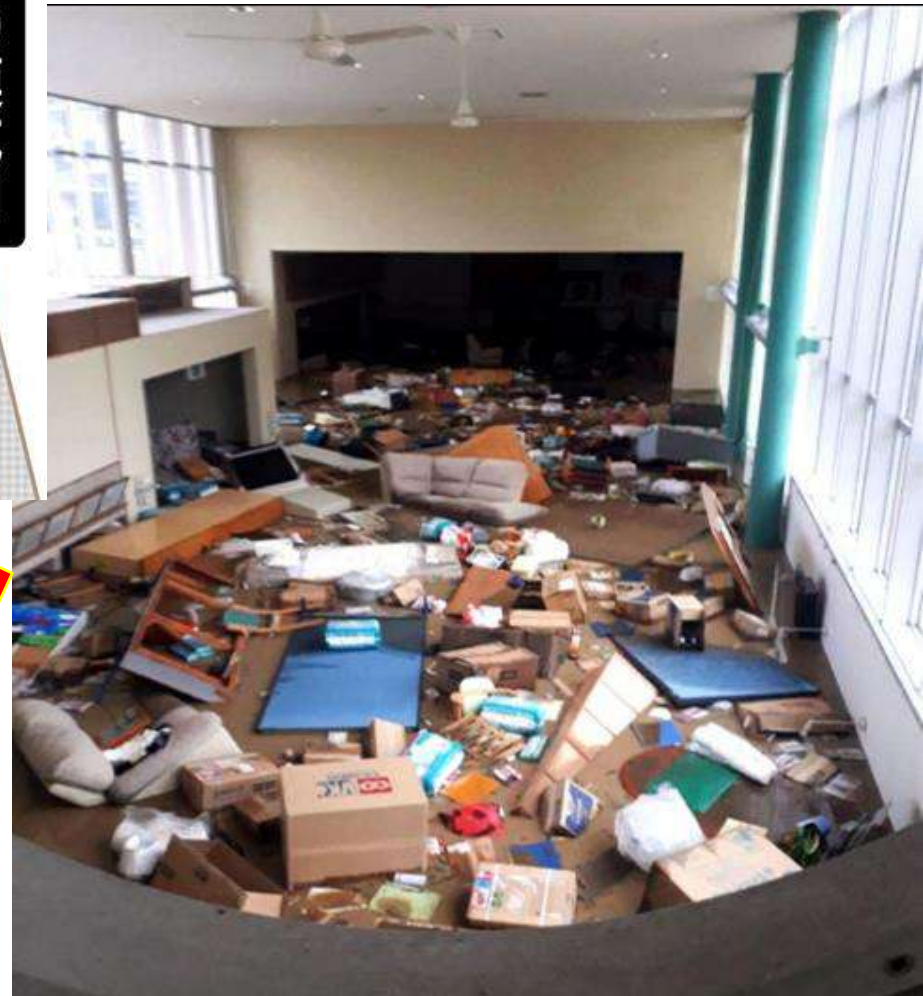
12:50頃 千寿園へ
その際の水位は
胸の高さ

浮流物の上にいた
生存者2名を救出



千寿園内部の模式図

8時40分頃 1階が水没
2階の手前まで水が迫る



千寿園 1階フロア 水位は2m近く

このラインが1階事務所の入り口最上部

球磨村 渡
特別養護老人ホーム
千寿園

西日本新聞の記事より

7月3～4日 千寿園を巡る状況

7月3日	17:00	球磨村が「避難準備・高齢者等避難開始」千寿園に村から連絡が入る
	17:30ころ	道路向かいの短期入所生活介護「どんぐり」利用者7人を千寿園に連れてくる
	21:00	千寿園、職員5人の夜勤態勢に入る
	22:20	球磨村が避難勧告
7月4日	3:10	球磨川の人吉観測所で氾濫注意水位に達する
	3:30	球磨村が避難指示
	<u>4:00ころ</u>	入所者を1階東側の広間へ避難させ始める＝① 職員、園幹部に電話「支流の水位が危ない」 園幹部は水位の様子見を指示
	4:50	熊本、鹿児島両県に大雨特別警報
	5:00ころ	職員が園幹部に再度電話 園幹部が園に向かうが、道路冠水などでたどり着けず
	<u>5:30</u>	国土交通省、河川監視カメラで球磨川支流の小川の氾濫を確認
	6:00ころ	地域住民が応援に駆け付け始め、その後2階などへの避難を開始＝②
	<u>7:00ころ</u>	園の渡り廊下のガラスが割れ、園内に水が入り始める 園に応援に来た村職員が、携帯電話で村役場へ救助要請
	8:05	園から地元消防に「2階にいるが避難できない」と通報
	<u>8:40ころ</u>	園の1階が水没。2階の手前まで水があふれる
	10:20	人吉市へ向かう陸上自衛隊に球磨村から「千寿園が危ない」と情報が入る
	13:10	陸自、園に到着。救助活動を始める
	16:45ころ	熊本県、「千寿園で心肺停止14人」と発表

※ は千寿園元職員の証言に基づく

球磨村 渡 特別養護老人ホーム 千寿園



自衛隊と一緒に救助活動する
ラフティングガイド
屋上から体調が悪化した
入所者を搬送した

球磨川の堤防樋門が開かず 翌日(7/5)午後になっても 湖と化したままの国道

避難所のさくらドームまで
ボートでの移動を強いられ
救助作業の障害とっていた

球磨村 渡
冠水した国道219号





**ダムがあったら
本当に小川の氾濫は
防げましたか？**

**あの時の「緊急放流」は
絶望と理不尽さへの
怒りしかありませんでした**



ウェザーニュース

熊本 市房ダム緊急放流

小川 ←

熊日令和2年熊本豪雨特別報道写真集より

今回、これまでの治水対策は全く役にたなかった

熊本県・球磨村

ほとんどの成熟した人工林が利用されないままになっている一方で、林業後継者がいないなどのために人工林を伐採収穫すると同時に林業に使われていた土地が放棄されるというケースが出現してきている。熊本県球磨村の植栽放棄地は地元新聞で大きく報道された。

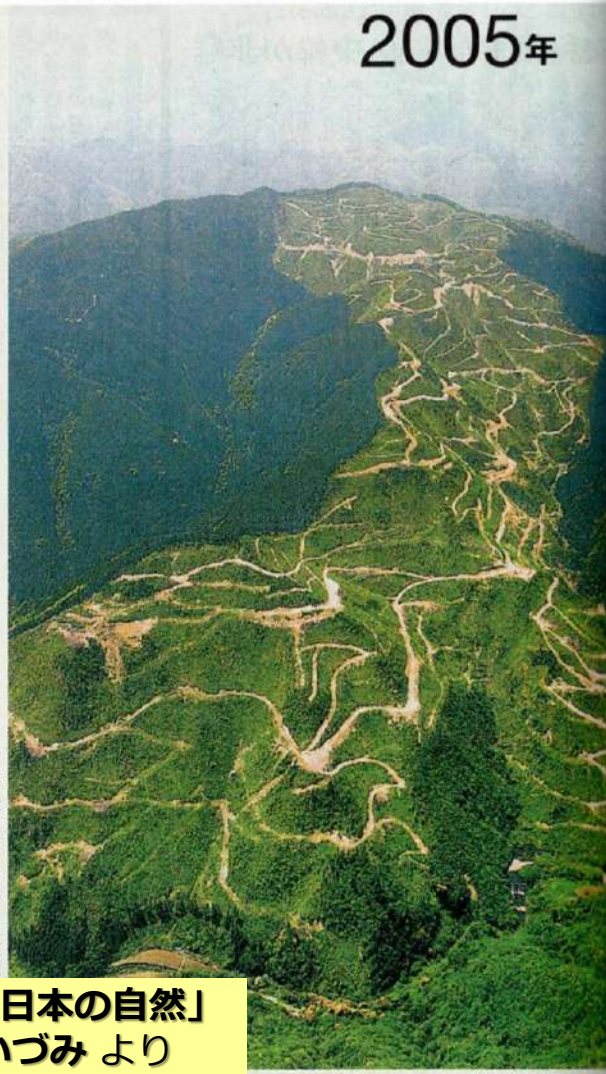


(下) 出典・熊本日日新聞 2005年7月13日付朝刊1面



皆伐された山林 | 小川上流の現状

球磨村の山の悲惨な現状は
15年前に報道され
災害発生の懸念を指摘
しかし、
何も対策は施されなかった
現状も山の手入れは
追いついていない
川を守るのは
山ではないでしょうか・・・。



2005年

植栽放棄 500 超

災害や環境悪化の恐れ

人吉球磨地方の伐採民有林

一定面積のすぎ、ヒノキ植栽地は拡大する恐れがある。年三月末時点で確認した県内未植栽地は六市町村に及ぶ。球磨村が最も多く、千以上の森林をすべて伐採する。保水力の低下と表土崩落による災害や、球磨川が、人吉球磨が全体の94%に当たる五百八十三、放置された民有林が、八代海にかけての流域、多に当たる五百八十三、球磨地方で五百超え、境の悪化につながりかねない。このうち四年十月までに、植栽されたのは五十一、とどまり、五百三十三、は五十超え以上の未植栽地が、一度に百超えの伐採し、25面に関連記事

所は九十五以上、
県球磨地域振興局は「伐採した針葉樹の根は八十年で腐り、土を固定しきれなくなる。集中豪雨時の土砂流出など災害につながる可能性もあり、水源かん養など森林の公的機能が発揮できなくなる。急斜面では木がなかなか育たず天然林としての再生も進みにくい」と問題視している。

未植栽地が目立ち始めたのは一九九〇年代後半。木材価格の低迷から、森林所有者が大規模面積を皆伐する例が相次いだ。一度に大量の木材を出荷することで、

「消える日本の自然」
鷲谷いづみより

伐採した後は、植栽を放棄した比率が高いと分析。本県の林業の構造的な問題も現れており、一地域にのみならず全国的な課題として話している。

植栽されないまま放置されている山。伐採



「人間がどんなに想定しとっても自然はそれを超えてくる」

お聞きしたこの言葉は、被災者の心の叫びです。

今後、さらに気候変動が進むと
昨年のような災害は
どこでも起きる可能性が高いと考えます。

私達被災者の無念の思いを
絶対無駄にしないで下さい。